

大山町未来づくり10年プラン（総合計画）

審議会が開催されました



本町では、平成28年度からスタートする『大山町未来づくり10年プラン』（総合計画）の策定を進めています。

昨年度から地域住民と役場の若手職員等で構成する「大山町未来会議」で、その素案を検討してきました。

ワークショップを月1回のペースで開き、未来会議メンバーからアイデアを募ったり、大山町の強みや弱みを分析したりして、その改善策などを提案し、これらを踏まえて計画の原案を作成しました。

今後は、この原案に基づいてさまざまな機関の代表者や有識者などで構成する「大山町総合計画審議会」（19人）を組織して、よりよい計画になるように話し合いが進められます。

「大山町総合計画審議会」は、大山町総合計画審議会条例に基づき、町政の健全な発



▲諮問書を受け取る押村会長（左）

展を図るための総合計画の基本構想について、町長の諮問（機関や有識者に意見を求めること）に応じ調査審議して答申するために設置された組織です。

審議会委員は各種団体の代表者、学識経験者、住民（公募）から構成されています。

第1回審議会が、6月26日（金）に役場本庁舎で行われました。

開会に先立ち、総合計画作成の協働先である株式会社「studio」から、現在の時代潮流を踏まえた総合計画の役割や、大山町未来会議で話し合われたことの概要、このたびの計画策定までの過程は、地域

の担い手の人材育成と位置付けられていることなどが伝えられました。

また、未来会議の活動がきっかけで生まれた出来事として、全国放送でテレビ番組に取り上げられたことや、活動に共感して企業が本町に進出したことも紹介されました。

審議会の会長は、委員の互選によって押村克彦さん（大山町人権・同和教育推進協議会理事）、副会長は、豊島登志枝さん（大山町食生活改善推進員協議会会長）が選ばれました。

これを受け、町長から会長の押村克彦さんへ諮問書が手渡されました。

【今後の予定】

この審議会を数回開催し、計画の基本構想について答申（意見を申し述べること）を町長へ行った後、12月の定例議会に上程する予定です。

◆問い合わせ先

企画情報課

未来づくり戦略室

☎0859・54・5202